

【令和2年度】行橋市 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業名称	概要	担当課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	(単位：千円)		交付金充当経費内訳	効果検証 (内部評価)
					総事業費 (実績)	うち交付金 充当額		
1 第1次行橋市新型コロナウイルス感染拡大防止休業協力店舗支援事業	令和2年4月23日～5月6日に、休業要請に応じた中小企業・小規模事業者への支援 1店舗につき200,000円、同一事業者の場合、上限400,000円	商業観光課	R2.4.16	R2.5.15	80,442	80,400	協力支援金 200,000円×402店舗=80,400,000円	緊急事態宣言期間中に休業要請に応じた事業者に対して協力支援金を給付したことで、感染の拡大を防ぎ、併せて事業継続の下支えをする事ができた。
2 第2次行橋市新型コロナウイルス感染拡大防止休業協力店舗支援事業	令和2年5月18日～5月31日に、休業要請に応じた中小企業・小規模事業者への支援協力支援金 1店舗につき200,000円、同一事業者の場合、上限400,000円 但し、第1次行橋市新型コロナウイルス感染拡大防止休業協力店舗支援事業で給付された事業者においては、1店舗につき100,000円、上限200,000円	総務課 防災危機管理室	R2.5.13	R2.6.8	66,878	66,700	協力支援金 200,000円×190店舗=38,000,000円 100,000円×287店舗=28,700,000円 計 66,700,000円	休業要請に協力する飲食店や理美容店等事業者に支援金を支給することにより、休業店舗が増加して感染拡大防止が図られた。
3 行橋市幼稚園及び届出保育施設支援助成金	登園自粛の影響で、市内幼稚園及び届出保育施設が行った保育料減免について助成	子ども支援課	R2.6.1	R3.2.25	4,744	4,744	幼稚園 3,073,170円 届出保育施設 1,671,280円 計 4,744,450円	幼稚園等が保育料を減免した分、園の収入は減額し、経営状況は厳しくなったが、市が助成を行うことにより、園の経営状況の悪化を防止することができた。
4 行橋市新生児子育て応援特別給付金	R2.4.28～R3.3.31に生まれた新生児に対する給付金(1人10万円)	子ども支援課	R2.7.1	R3.3.30	48,452	44,200	給付金 100,000円×442人=44,200,000円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済的影響により、出産、子育て等に不安を抱える子育て世代を支援することにより、子どもの健やかな成長に寄与した。
5 地域公共交通感染症拡大防止対策支援事業	市内タクシー・バス事業者へ、1台3万円、(1法人等200万円上限)感染症拡大防止策への支援	都市政策課	R2.10.1	R2.12.17	4,573	4,520	1台あたり30,000円 対象台数：152台 計 4,520,000円 (上限に達した法人あり)	公共交通事業者の感染拡大防止対策実施を支援することで、市民が安心して公共交通を利用できるようにした。

事業名称	概要	担当課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (実績)	(単位：千円)	交付金充当経費内訳	効果検証 (内部評価)
						うち交付金 充当額		
6 救急活動における新型コロナウイルス感染防止対策	新型コロナウイルス感染拡大に伴う救急活動における感染防止対策を目的とした資機材の購入	消防本部 警防課	R2.4.7	R3.3.25	5,707	5,707	消耗品 4,112,024円 (消毒剤、感染防止衣、ラリングルチューブ等) 備品 1,595,330円 (オゾンガス式除染装置、ストレッチャー取付式簡易アイソレーター 等) 計 5,707,354円	救急活動における新型コロナウイルス感染症の感染防止と救急隊員の心理的負担の軽減が図られた。
7 消防庁舎感染防止対策工事	感染防止対策のため、救急資機材等の洗浄を行うための施設の設置		R2.12.2	R3.3.19	2,233	2,233	工事費 2,233,000円	出動準備室に大型の流し台を設置したことにより、汚染された救急資器材の洗浄等、感染防止に寄与した。
8 高度救急シミュレーター購入	コロナ対策として増加するシミュレーション訓練に必要な救急シミュレーターの購入		R2.12.1	R3.2.18	2,146	2,146	高度救急シミュレーター (1台) 購入 2,146,419円	新型コロナウイルス感染症患者に対する救急活動を想定した実践的な訓練に寄与した。
9 議場整備事業	議場内に飛沫防止用のアクリル板と、議場出入口にスクリーンを設置	議会事務局	R2.10.1	R3.2.1	574	574	議員席 9,550円×1.1×21台=220,605円 執行部 9,650円×1.1×19台=201,685円 議員席 (中間仕切り用) 8,950円×1.1×11台=108,295円 スクリーン：11,000円×4枚 =44,000円 合計 574,585円	議場内アクリルパネルの設置と、出入口にスクリーンを設置し開放による換気を行うことにより、感染予防対策の強化を図り、感染リスクを低減できた。
10 行橋市保育従事者慰労金	保育に従事している職員に対して慰労金を給付	子ども支援課	R2.10.1	R2.12.17	23,870	23,870	給付金 保育従事者 50,000円×412人=20,600,000円 その他職員 (事務職員等) 30,000円×109人=3,270,000円 計 23,870,000円	コロナ禍では、消毒業務や清掃業務等、通常の保育業務に加え、多くの作業をしなければならず、また、子どもを預かることにも細心の注意を払う必要があり、現場の職員は体力的にも精神的にも大変疲弊した状況であったが、慰労金を支給することで、労をねぎらうことができた。
11 総合福祉センター管理事業	総合福祉センターの相談室に空気清浄機を設置	地域福祉課	R2.10.15	R2.10.28	229	229	空気清浄機購入費用 34,800円×1.1×6台=229,680円	空気清浄機を購入したことにより、感染拡大防止につながった。

事業名称	概要	担当課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (実績)	(単位：千円)		効果検証 (内部評価)
						うち交付金 充当額	交付金充当経費内訳	
12 市庁舎感染予防対策事業	市庁舎1階窓口カウンターにアクリルパネルを設置	財政課	R2.11.4	R2.11.30	548	548	購入設置費 548,790円 (57枚設置)	市役所1階にアクリルパネルを設置したことにより、窓口対応時の飛沫感染拡大防止につながった。
13 避難所等感染症対策事業	公共施設における手洗い蛇口の自動水栓化	総務課 防災危機管理室	R2.9.25	R3.3.31	27,196	25,127	手洗い蛇口の自動水栓化 233箇所 13,585,000円	避難所(公共施設)の手洗い蛇口を自動水栓化したことにより、感染拡大防止が図られた。
	公共施設における洋式トイレ便座除菌クリーナー設置、網、間仕切り他						避難所における消耗品費及び備品 11,060,362円 (うち交付金充当額 8,992千円)	間仕切り等コロナ対策用品を購入したことにより、避難所(公共施設)における感染拡大防止が図られた。
	コロナ感染拡大防止対策用品増加による防災備蓄倉庫設置①						590,000円×1.1×2ヶ所=1,298,000円	防災備蓄倉庫を設置することにより、コロナ対策用品の増加による備蓄容量不足に対応することができた。
	コロナ感染拡大防止対策用品増加による防災備蓄倉庫設置②						575,000円×1.1×1ヶ所=632,500円	防災備蓄倉庫を設置することにより、コロナ対策用品の増加による備蓄容量不足に対応することができた。
	避難所用簡易型テント・折りたたみベッド購入						テント 9,500円×1.1×30張=313,500円 ベッド 9,300円×1.130床 =306,900円 計 620,400円	簡易型テントと折りたたみベッドを購入したことにより、福祉避難所における感染拡大防止が図られた。
14 体育館、武道館大型送風機設置事業	体育館、武道館に大型送風機を配備	スポーツ振興課	R2.10.5	R2.12.2	626	626	送風機の購入経費 284,800円×1.1×2施設=626,560円	各施設での感染症防止対策を図るとともに、災害時に向けて熱中症対策を行うことができた。

事業名称	概要	担当課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (実績)	(単位：千円)	交付金充当経費内訳	効果検証 (内部評価)
						うち交付金 充当額		
15 小中学校体育館大型送風機設置事業	小中学校の体育館に大型送風機を配備	学校管理課	R2.8.7	R2.9.11	4,357	4,356	送風機の購入経費 小学校 233,000円×1.1×11校 =2,819,300円 中学校 233,000円×1.1×6校 =1,537,800円 ※小学校 2,819千円 +中学校 1,537千円 =4,356千円	小中学校の体育館に大型送風機を設置し、換気を促進することで新型コロナウイルス感染症予防を図るとともに熱中症対策を図ることができた。
16 児童クラブ職員への慰労金支給事業	児童クラブ職員に慰労金を支給	学校管理課	R2.10.1	R2.12.10	5,700	5,700	慰労金 50,000円×114人=5,700,000円	感染拡大の中、過密となる現場において、心的負担を抱えながら職務に従事した職員のモチベーション向上に寄与した。
17 行橋プレミアム商品券事業	プレミアム率20%（内市補助7%）のプレミアム商品券(増刷)を発行	商業観光課	R2.7.1	R3.3.25	14,616	14,616	商品券印刷 150,000,000円×7%=10,500,000円 事務委託料 4,116,763円 計 14,616,763円	商品券の販売率は100%、換金率は99.78%と多くの方にご利用いただき、冷え込む地域経済の回復に寄与した。
18 動画撮影編集機材購入事業	動画による情報発信のためのビデオカメラ3台、動画編集用パソコン1台、他関連備品購入	情報政策課	R2.11.4	R2.11.30	958	958	ビデオカメラ 188,000円×3台×1.1=620,400円 キャリングケース 4,800円×3個×1.1=15,840円 バッテリーパック 20,000円×3個×1.1=66,000円 三脚 9,800円×3台×1.1=32,340円 集音マイク 9,800円×3台×1.1=32,340円 SDカード(128G) 9,800円×3個×1.1=32,340円 動画編集パソコン 138,000円×1台×1.1=151,800円 動画編集ソフト 6,600円×1個×1.1=7,260円 計 958,320円	各種講演会等の様子を撮影・リモート配信することで、コロナ感染症対策を実施しつつ、有益な情報発信を行うことが出来た。
19 情報システムコンサルタント業務	行政事務のデジタル化を推進するため、情報システムの現状の課題や今後導入すべきシステムについての整理を実施	情報政策課	R2.12.18	R3.3.31	12,452	12,452	情報システムコンサルタント委託料 12,452,000円	基本計画を策定するにあたり全庁的にヒアリングを実施することで、本市デジタル化の現状を把握し、今後実施すべきことを可視化することができた。

事業名称	概要	担当課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (実績)	(単位：千円)		交付金充当経費内訳	効果検証 (内部評価)
						うち交付金 充当額			
20 大学生等生活応援給付金	市内出身の大学生へ1人10万円の給付金を支給	教育総務課	R2.7.31	R2.12.8	76,351	74,692		給付金100,000円×745人 =74,500,000円 パソコン設定委託料(2台分) 192,500円 計 74,692,500円	行橋市を離れて生活している大学生等に1人10万円の給付金を給付したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で将来に不安を抱き、経済的に厳しい状況におかれている大学生等を支援することができた。
21 医療機関等感染症対応支援給付金事業	感染症予防対策を図り、医療等の提供を行っている機関への支援給付金	地域福祉課	R2.10.1	R2.12.4	35,967	35,700		病院・診療所 300,000円×103施設=30,900,000円 薬局 100,000円×48施設=4,800,000円 計 35,700,000円	医療機関が感染症対策に取り組む事で安心した医療提供体制の確保及び維持が行えた。
22 学校臨時休業対策費補助金	学校臨時休業に伴う給食関係事業者への支援金 (国庫補助事業の地方負担分に充当)	防災食育センター	R2.4.1	R2.7.2	5,859	1,465		(総事業費)5,859,343円 -(国庫補助)4,394,000円 =1,465,343円	臨時休業期間中の学校給食休止時のパン・牛乳・加工品等に対し補助することによって、臨時休業時における業者負担の軽減が図られた。
23 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業	学校教育活動の再開を支援する経費を補助 (国庫補助事業の地方負担分に充当)	学校管理課	R2.8.3	R3.3.31	44,966	22,483		(総事業費)44,966,774円×1/2 =22,483,000円 (国庫補助率1/2)	新型コロナウイルス感染症対策用品の購入により、学校における感染症予防等対策に寄与した。
24 ゆくはし応援商品券(令和2年度分)	・全市民に5千円分の商品券支給 ・マイナンバー取得の方に5千円分の商品券配布	情報政策課	R3.1.1	R3.11.30	36,774	35,559		(令和2年度分) 印刷製本費 1,057,540円 通信運搬費 16,952,871円 委託料 17,549,188円 計 35,559,599円	—
25 インフルエンザ予防接種支援	子ども(0歳~18歳)、妊婦のインフルエンザ予防接種の経費を補助	子ども支援課	R2.10.1	R3.3.23	29,737	28,848		子ども 9,597件 27,949,246円 妊婦 271件 899,178円 計 9,868件 28,848,424円	コロナ禍では、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の症状が類似して、診断が難しい状況下で、18歳以下の接種率は約46.5%となり、インフルエンザの予防および医療機関等の負担軽減に寄与できた。

事業名称	概要	担当課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (実績)	(単位：千円)		効果検証 (内部評価)
						うち交付金 充当額	交付金充当経費内訳	
26 介護サービス関係者向け支援	感染症対応支援金 1法人20万円(66法人)	介護保険課	R3.1.4	R3.3.9	13,359	13,200	200,000円×66法人=13,200,000円	感染症対応支援として、1法人あたり20万円を給付することにより、施設入居者や介護職従事者への感染症対策が図れた。
27 障がい福祉サービス関係者向け支援	感染症対応支援金 1法人20万円(36法人)	障がい者支援室	R3.1.6	R3.3.17	7,214	7,200	200,000円×36施設=7,200,000円	感染症対応支援として、1法人あたり20万円を給付することにより、障がい福祉サービス事業者及び利用者への感染拡大防止が図られた。
28 新型コロナウイルス感染症検査医療機関支援事業	福岡県指定の「診療・検査医療機関」への支援金	地域福祉課	R3.1.25	R3.3.30	4,994	4,987	25施設 支援金(上限20万) 4,987,541円	医療機関が適切に診療及び検査を行うことが出来た。また、市民が受診等の際にも安心して受診する事に繋がった。
29 マイナンバーカード取得促進事業	臨時窓口設置等経費	総合窓口課	R3.2.8	R3.2.22	515	515	複合機 21,900円×4台×1.1=96,360円 空気清浄機 46,700円×4台×1.1=197,120円 大型扇風機 9,680円×3台×1.1=31,944円 パーテーション 9,400円×16台×1.1=165,440円 設置費 24,200円 計 515,064円	マイナンバーカード交付を別会場にし、そちらに対し、各備品を設置したことで感染拡大防止につながった。
30 高齢者インフルエンザ予防接種事業	高齢者に対するインフルエンザ予防接種の助成	地域福祉課	R2.4.1	R3.3.30	60,536	60,257	高齢者 15,813人 60,257,436円	住民の健康確保及び新型コロナウイルスと初期症状が似ている事による受診時の医療機関での負担軽減が図れた。
31 学校保健特別対策事業費補助金	感染症対策のためのマスク等購入(国庫補助事業の地方負担分に充当)	学校管理課	R2.7.28	R3.2.1	1,931	964	(交付対象経費)1,929,000円×1/2=964,000円(国庫補助率1/2)	新型コロナウイルス感染症対策用品の購入により、学校における感染症予防等対策に寄与した。

事業名称	概要	担当課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (実績)	(単位：千円)		効果検証 (内部評価)
						うち交付金 充当額	交付金充当経費内訳	
32 疾病予防対策事業費等補助金	高齢者に対するPCR検査の委託料 (国庫補助事業の地方負担分に充当)	地域福祉課	R3.1.4	R3.3.25	1,124	562	(総事業費)1,124,000円×1/2 =562,000円(国庫補助率1/2)	新規入院者等が安心して入院し治療等に 専念出来た。また受け入れ施設等の感染 拡大防止に繋がった。
33 障害者総合支援事業費補助金	地域活動支援センターや日中一時支援事 業の受け入れ体制強化等 (国庫補助事業の地方負担分に充当)	障がい者支援室	R3.1.1	R3.3.31	51	15	(総事業費)51,660円(2事業所) 52千円×1/2≒25千円(国庫補助額) 52千円-25千円=27千円 うち市負担：15千円(交付金充当 県補助：12千円 (国庫補助率1/2、県補助率1/4)	通所先の休業により、在宅生活を余儀なく された障がい者等への日中活動の場及び介 護者のレスパイトの機会を提供・確保する ため、受け入れのニーズが増大した地域活 動支援センターや日中一時支援事業所に対 して、人件費や消毒など受け入れのため新 たに発生した費用に係る補助金を交付する ことで、地域における地域生活支援事業提 供体制の確保及び維持を図ることができ た。
34 障害者総合支援事業費補助金	「訪問入浴サービス」等体制強化事業 (国庫補助事業の地方負担分に充当)	障がい者支援室	R3.1.1	R3.3.31	895	226	(総事業費)895,939円(6事業所) 896千円×1/2≒447千円(国庫補助額) 896千円-447千円=449千円 うち市負担：226千円(交付金充当) 県補助：223千円 (国庫補助率1/2、県補助率1/4)	外出の自粛や外出先の休業により発生し た、居宅における重度障がい者等の入浴機 会の確保の課題、また、ボランティアや近 隣住民による障がい者等への生活サポート の機会の減少といった課題に対応するた め、訪問入浴サービス等事業所に対して、 人件費や消毒など利用者の受け入れのため に新たに発生した費用に係る補助金を交付 することで、障がい者等における日常生活 の支援体制の強化等を図ることができた。
35 障害者総合支援事業費補助金	特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後 等デイサービス支援事業 (国庫補助事業の地方負担分に充当)	障がい者支援室	R2.4.1	R2.6.30	160	40	(総事業費)160,403円 160千円×1/2=80,000円(国庫補助額) 160千円-80千円=80千円 うち市負担：40千円(交付金充当) 県補助：40千円 (国庫補助率1/2、県補助率1/4)	新型コロナウイルス感染症対策に伴う学 校の臨時休業により追加的に生じた利用 者負担額及び代替サービス提供に係る利 用者負担増額分の補助により、保護者の 負担が軽減された。
36 子ども・子育て支援交付金	放課後児童健全育成事業 (国庫補助事業の地方負担分に充当)	学校管理課	R2.4.1	R3.3.31	2,404	802	2,404千円÷1/3=801千円(国庫補助額) 2,404千円-801千円=1,603千円 うち市負担：802千円(交付金充当) 県補助：801千円 (国庫補助率1/3、県補助率1/3)	感染拡大によりクラブの利用を自粛した 家庭を減免し、経済的な負担を緩和する ことで地域経済の維持と活性化が図られ た。
				計	629,138	587,221		